

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	日本語表現Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0027	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教育科	対象学年	2		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	中級日本語カルテットⅡ・アカデミックライティング講座				
担当教員	増田 寿枝				
到達目標					
この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。この科目の到達目標と成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連性を以下の表に示す。 ①多様な文章を読み、語彙と表現力を拡大する。45%(b3) ②複雑な表現を用いた長文を素早く理解する力を養う。30%(b1) ③レポートや小論文及びそれに関連する資料を読み、自己の考えを短時間でまとめて口頭や文章で表現する力をつける。25%(b2)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
多様な文章を読み、語彙と表現力を拡大する	様々な種類の文章を読んで習得した語彙や表現を用いて、高度な文章が産出できる。	様々な文章を読み、未習の語彙や表現を習得し、豊かな表現力をつける。	左記レベルに達していない。		
複雑な表現を用いた長文を素早く理解する力を養う	様々な文章を読み、その内容について正確に理解することができる。	長文を読み、未習の語彙や表現を除き、概ね内容が理解できる。	左記レベルに達していない。		
レポートや小論文及びそれに関連する資料を読み、自己の考えを短時間でまとめて口頭や文章で表現する力をつける	レポートや小論文、その関連資料等から作者が意図することを推測し、自己の考えを交えた論理的な文章を産出することができる。	レポートや小論文、その関連資料等から内容を正確に読み取り、他者に対して自己の考えや評価を適切な表現で表すことができる。	左記レベルに達していない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	留学生在が日本事情の学習内容において学ぶ語彙や表現等を覚える。また、それらを使用しインプット・アウトプットの練習を交えながら自己の考えや評価などを発信する練習を行う。				
授業の進め方・方法	教科書及び教師作成資料、聴解教材等を使用して学習活動を行う。				
注意点	学んだ語彙や表現等を実生活で使用し、確実に定着させるよう努力が要求される。 本科目は本来、面接授業として実施を予定していたものであるが、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態において、必要に応じ遠隔授業として実施するものである。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	中級日本語カルテットⅡ 7課 (読む)	新出語彙や文法を学び、読み物の内容を理解することができる。	
		2週	中級日本語カルテットⅡ 7課 (書く)	与えられたテーマについて既習項目を用い、段落構成を考えながら書くことができる。	
		3週	中級日本語カルテットⅡ 7課 (話す・聞く)	構成や流れを考えながら正しく発表・会話ができるようになる。 自然な言い回しや表現が使えるようになる。	
		4週	中級日本語カルテットⅡ 8課 (読む)	新出語彙や文法を学び、読み物の内容を理解することができる。	
		5週	中級日本語カルテットⅡ 8課 (書く)	与えられたテーマについて既習項目を用い、段落構成を考えながら書くことができる。	
		6週	中級日本語カルテットⅡ 8課 (話す・聞く)	構成や流れを考えながら正しく発表・会話ができるようになる。 自然な言い回しや表現が使えるようになる。	
		7週	復習		
		8週	前期中間試験		
	2ndQ	9週	中級日本語カルテットⅡ 9課 (読む)	新出語彙や文法を学び、読み物の内容を理解することができる。	
		10週	中級日本語カルテットⅡ 9課 (書く)	与えられたテーマについて既習項目を用い、段落構成を考えながら書くことができる。	
		11週	中級日本語カルテットⅡ 9課 (話す・聞く)	構成や流れを考えながら正しく発表・会話ができるようになる。 自然な言い回しや表現が使えるようになる。	
		12週	中級日本語カルテットⅡ 10課 (読む)	新出語彙や文法を学び、読み物の内容を理解することができる。	
		13週	中級日本語カルテットⅡ 10課 (書く)	与えられたテーマについて既習項目を用い、段落構成を考えながら書くことができる。	
		14週	中級日本語カルテットⅡ 10課 (話す・聞く)	構成や流れを考えながら正しく発表・会話ができるようになる。 自然な言い回しや表現が使えるようになる。	
		15週	前期期末試験		
		16週	試験解説・発展授業		

後期	3rdQ	1週	中級日本語カルテットⅡ 11課（読む）	新出語彙や文法を学び、読み物の内容を理解することができる。
		2週	中級日本語カルテットⅡ 11課（書く）	与えられたテーマについて既習項目を用い、段落構成を考えながら書くことができる。
		3週	中級日本語カルテットⅡ 11課（話す・聞く）	構成や流れを考えながら正しく発表・会話ができるようになる。 自然な言い回しや表現が使えるようになる。
		4週	中級日本語カルテットⅡ 12課（読む）	新出語彙や文法を学び、読み物の内容を理解することができる。
		5週	中級日本語カルテットⅡ 12課（書く）	与えられたテーマについて既習項目を用い、段落構成を考えながら書くことができる。
		6週	中級日本語カルテットⅡ 12課（話す・聞く）	構成や流れを考えながら正しく発表・会話ができるようになる。 自然な言い回しや表現が使えるようになる。
		7週	復習	
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	アカデミックライティング5課ニュース（読み）	新出語彙や文法を学び、読み物の内容を理解することができる。
		10週	アカデミックライティング5課ニュース（書き）	与えられたテーマについて既習項目を用い、段落構成を考えながらアカデミックスタイルで書くことができる。
		11週	アカデミックライティング5課ニュース（発表）	構成を考えながらアカデミックな発表ができるようになる。
		12週	アカデミックライティング6課データ（読み）	新出語彙や文法を学び、読み物の内容を理解することができる。
		13週	アカデミックライティング6課データ（書き）	与えられたテーマについて既習項目を用い、段落構成を考えながらアカデミックスタイルで書くことができる。
		14週	アカデミックライティング6課データ（発表）	構成を考えながらアカデミックな発表ができるようになる。
		15週	後期期末試験	
		16週	試験解説・発展授業	

#### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
<b>評価割合</b>					
		試験	課題・小テスト	出席・態度	合計
総合評価割合		60	30	10	100
基礎的能力		60	30	10	100
専門的能力		0	0	0	0
分野横断的能力		0	0	0	0